

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立さつき野中学校

校長 中曾一彦

中学校区におけるめざす子ども像
「確かな学び」他者の意見を聴き自分の考えを広げたり深めたりすることができる子ども。
「豊かな心」9年間を通して正しい人権意識を持って行動し、自他の良さを認め合うことができる子ども。
「健やかな体」心身の健康をはぐくみ、自他の生命を大切にできる子ども。

令和5年度 重点目標
『子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、多様な他者と協同しながら、社会の変化に柔軟に対応できるよう、保護者・地域・学校が一体となり総合的な学力を育成する』

確かな学びの現状
全体的に学習に向かう姿勢は良いが、全国学力テストの質問紙項目「将来の夢や目標はありますか。」の項目においては、過去数年連続、全国平均を下回っている。このデータをさつき野学園の課題としてとらえ、今後さつき野学園の児童生徒に必要な力は何かを職員で議論し、まちがいをおそれず主体的に学びに向かっていく力と、基礎的な学力の2つがあがった。そこで、今年度の研修テーマを「まちがいをおそれず、主体的に学び、9年間で自分の夢を見つけることができる児童生徒の育成」とした。取り組みは大きく3つで、授業研究を通じた情報活用能力の育成と、自主学習ノートや朝の時間を活用した基礎的な学力の向上、そしてこれら2つを支えるカリキュラムマネジメントの取り組みである。
豊かな心・健やかな体の現状
学校では大運動会、球技大会、マラソン大会、ダンスアピール大会などの体育的な取り組みをはじめ、普段の体育の授業で体力づくりを行うなど、学校全体の取り組みとして、様々な工夫・支援を行っている。いずれの生徒も運動が好きで、部活動や休み時間を使い体を動かしている生徒が多数である。苦手な種目や運動にも積極的に挑戦していく生徒も多い。また、毎学期、「いじめ・生活アンケート」を実施し、生徒一人ひとりと教育相談を行っている。内容に応じ生徒指導会議、職員会議等で全教職員が共通理解をはかっている。
人権・道徳の学習については、生徒同士が意見を交流・共有させることで自分自身のこととして考えられる生徒も多い。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末) (自己評価, 学校関係者評価). Rows include '確かな学び', '豊かな心・健やかな体', and '地域協働'.

校長より(年度末)
【確かな学び】4つの情報活用能力「問いを持つ力」「情報を集める力」「集めた情報を整理・分析する力」「情報をまとめ・表現する力」の育成に力を注いだ。四則計算の力を小学校6年間で培い、中学校の3年間でその力の定着を図る算数・数学科の系統性についても小中一貫教育の中で取り組むことができた。
【豊かな心・健やかな体】小中一貫校の強みを活かした「たてわり活動」や学校種別を超えた教員による子どもたちへの「寄り添い」を継続的に実施することができた。
【地域活動】学校ホームページ、tetoruの配信を通じて、日々の子どもの活動の様子や情報をタイムリーに伝えることができた。
学校関係者評価者から(年度末)
学力向上に向けて、検討が必要ではないかと思った。どこまで個別のフォローができるのか。また、学力以外の大切な事項についても様々な取組がなされていると思った。